

あ と が き

「核データニュース」No.4 (通巻40号)をお届けします。前号は発行の遅れをとり戻すことばかりが先に立ち、これまでの平均頁数からみてもかなり薄いものになってしまいました。貴重な原稿をいただいたにもかかわらず、内容の乏しい印象を与える結果となり、御執筆いただいた方々には甚だ相済みぬと思っています。その点、本号では本来の形をとり戻せたものと思います。

本文にもあるように、原研の「原子核データ室」は7月1日より「核データセンター」と改称することになりました。永年の願いがやっとかなえられたわけで、過去10年を振り返り思いをめぐらすことは多々ありますが、それは別の機会にゆずるとして、この「ニュース」誌も核データセンターとしての機能を十分に果たすべく新味を加えるとともに改善してゆきたいものと考えています。

ところで急に次元の低い話になりますが、最近の「ニュース」を手にして思うことがあります。国際会議等の資料はできるだけ手を加えずに、そのままオフセット印刷にするようにしているのですが、殆んど資料がA4版であるためB5版の本誌に印刷されるとかなり縮小されます。1頁にできるだけ詰め込むのならともかく、わざわざ縮小して見にくく印刷するのは印刷費を考慮してもどうも不合理に思えます。また、図や表をのせる機会が多くなってくると、版が小さいために小回りがきかないで困る場合も出てきます。と言ったわけで、編集係では、核データセンターが発足したのを契機に本誌をA4版に改めることを提案したいと考えています。 (浅見)

編集者 更 田 豊治郎
浅 見 哲 夫
大 竹 幸 江